

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	28	学校名	静岡県立富士宮北高等学校	校長名	山野 良成
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 スクールミッション

「**覇気・信念・明朗**」の校訓のもと地域で活躍する多くの人材を輩出してきた伝統校として、「**文武両道**」の精神で勉学と部活動に全力で取り組む教育活動や、実践的な商業教育、富士山の恵みを活かした探究学習、地域と連携した国際理解教育などを通して、地域社会の発展に貢献できる**グローバルリーダーの育成**を目指す。

2 スクールポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習に主体的に取り組む、自分の進路実現を成し遂げる力【覇気】 ・自分の意見をしっかりと持ち、相手にわかりやすく伝えることができる力【信念】 ・「文武両道」の精神で、明るく、前向きに、何事にも積極的に取り組むことができる力【明朗】 ・多様な価値観を受け入れ、国際的な視野を持ち、地域の課題に関心を持って、社会に貢献しようとする力【グローバル人材】 	<p>～本校ではこのような学びを行います～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台情報端末を効果的に活用しながら、総合的な探究の時間(タンタンタイム)の充実を図ります。 ・個人の調べ学習や、グループでの調査研究発表の機会を増やします。 ・生徒主体の学校行事活動、環境美化作業などのボランティア活動を積極的に実施します。 ・地域社会と連携した教育や、国際的な視野を広げる教育活動を行います。 ・普通科では、文系・理系選択及び商業科目も含んだ多様な科目の選択を可能とし、習熟度別の授業を実施することで、個々の進路目標に応じた学習の充実を図ります。 ・商業科では、資格や検定等の取得により商業に関する基礎的な知識・技術の習得を図ります。また、企業や地域と連携した授業など、実学を重視した活動を行います。 	<p>～本校ではこのような生徒を求めています～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢の実現に向かって努力し、進路実現を図ろうとする生徒 ・明るく自主的に学習や委員会活動、部活動等に取り組む生徒 ・地域社会や国際的な問題に関心があり、主体的に探究的な学習に取り組みたい生徒 ・普通科においては自ら進んで勉学に励み、高い学力を身に付けたい生徒 ・商業科においては商業に関する分野に関心があり、多くの資格や検定を取得し、社会に貢献できる力を身に付けたい生徒

3 スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。
- イ オンリーワン事業や探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。
- ウ 学んだ知識や技能を実際に活用した実践的な商業教育を推進する。
- エ 自己理解・目的意識を高める系統的な指導を通して、個に応じた進路実現を支援する。
- オ 多様な活動への参加を通して、自己有用感、豊かな人間性、共生意識及び社会的資質・能力を育成する。
- カ 外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。
- キ 教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する
- ク 教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。

4 本年度の取組（重点目標はゴシックで記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な頭髪・服装指導 挨拶・声掛けの励行 集会や行事を通じた規範・帰属意識の醸成 交通安全の啓発 情報モラル教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「服装・頭髪指導がしっかりしている」「マナーがよい」保護者評価が各90%以上 登校指導40日、昼巡視20日を通して挨拶、声掛けの励行 交通事故10件以内 交通安全教室4月に実施 ケイタイマナー教室1回実施、授業、LHR等で生徒自らが情報モラルを考える時間の実施 	生徒課
		<ul style="list-style-type: none"> 校内連携、生徒情報の共有 教育相談の機能性の向上 特別支援教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「教職員は、悩みなどの相談にのってくれる」生徒評価90%以上 特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援の実施 	保健課
		<ul style="list-style-type: none"> 校訓の精神を理解・体現 	<ul style="list-style-type: none"> 行事（創立記念行事・式典等）を通じた校訓・校歌の理解・浸透 	総務課
イ	オンリーワン事業や探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容が分かり理解でき学力が付く授業の推進 自らの考えを表現させる場面の創出 家庭学習時間の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「分かりやすく学力が付く授業」85%以上 「自らの考えを表現できる生徒」60%以上 一日平均普通科90分以上、商業科60分以上 	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した分かりやすい授業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業の実施率80%以上 	情報課
		<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に対応した主体的対話的で深い学びの実現、観点別評価の実施 授業公開/見学の励行 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的対話的で深い学びの実現に結び付く授業改善に取り組んでいる」職員評価90%以上 新課程における適切な観点別評価の実施100% 授業公開週間を年2回以上実施 生徒による授業改善のためのアンケート実施 	図書研修課
		<ul style="list-style-type: none"> オンリーワン・ハイスクール事業の推進 「総合的な探究の時間」における探究プロセスの構築と実施 実践校の事例研究と職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> コンソーシアムの実施 年3回、地域と連携した関係事業の実施10回以上 充実した探究学習の実施 充実した内容の実施に向けての検討委員会の実施5回 	総合的な探究の時間オンリーワン委員会
ウ	学んだ知識や技能を実際に活用した実践的商業教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 対外的な商業活動への積極的参加・運営 課題研究の発表会の実施 系統的な検定/資格指導 ICTを活用した実践的授業等の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 対外的な商業活動20名以上 3年の課題研究発表会の実施 商業科2級以上取得95%以上、1級3種目以上取得30%以上 「授業等で実践的な取組ができた」と答える生徒70%以上 	商業科
		<ul style="list-style-type: none"> 地域連携・外部人材活用による商業的活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 外部人材による講演会の実施 商業科体験入学会の実施 	
エ	自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 入学試験合格のための実力の伸長 個別指導の機能向上・組織化 進路選択のための的確な進路の情報収集と提供 	<ul style="list-style-type: none"> 校外模試偏差値50以上が1・2年で20人以上、3年で10人以上 「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価90%以上、保護者肯定評価80%以上 「進路決定先満足度」3年生肯定評価95%以上 	進路課
		<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用したポートフォリオの作成 「学びの基礎診断」としての測定ツールの活用と検討 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路意識を向上させるため、学期に2回以上自らの行動を記録させ、学期に1回程度内容を振り返ることで、その後の行動が主体的で意識的になること 「学びの基礎診断」としての測定ツールを活用し、学年等で検討会を実施し、進路指導に活用する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 新しい入試に対する積極的な情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい入試に対する情報を収集し、その結果を生徒に伝える機会を学期1回程度持つことで、生徒と教員の情報共有ができること 	

オ	多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識、社会的資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 充実した部活動による人間性の涵養 「一人一役」ボランティアの推進 社会貢献活動の参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「充実した部活動により人間性が高められた」と答える生徒 85%以上 ボランティア活動に参加 50%以上 生徒会を中心としたボランティアの参加 4 回以上 	生徒課
		<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書を時間通り始めているクラス 100% 奨励図書を生徒公募、ビブリオバトル活動の継続 図書貸出各クラス 100 冊以上 	図書研修課
		<ul style="list-style-type: none"> 美化/清掃活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価 70%以上 	保健課
		<ul style="list-style-type: none"> 共生・共育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 分校との交流 20 回以上 	共生・共育委員会
カ	外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 校内防災体制の点検・整備 地域防災組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員向け校内研修 2 回以上 生徒の地域防災参加 60%以上 	総務課
		<ul style="list-style-type: none"> 一日体験入学・学校公開等の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 一日体験入学アンケート、満足度 70%以上 魅力的な体験入学および公開授業の実施 	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会等の効果的実施 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な広報資料の作成と中学校訪問年 3 回実施による志願者の確保 	管理職
		<ul style="list-style-type: none"> 学校HP等の効果的運用 外郭団体と連携した生徒支援の計画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 月 4 回以上のホームページの更新 P T A、学校後援会及び同窓会との連携強化 	総務課
キ	教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な校内研修の実施 実践事例に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修参加 95%以上、満足度 80%以上 事例研究、グループ研修を年 3 回以上実施 校外研修の報告することで情報共有 	図書研修課
		<ul style="list-style-type: none"> 不祥事根絶への取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス委員会を年 3 回開催し、職場環境や教職員の勤務状況を把握して適切に対応 コンプライアンス通信を配布し注意喚起 	管理職 コンプライアンス委員会
		<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策・熱中症対策を行い、安全な生活環境を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室への消毒設置 100% 感染症・熱中症の注意喚起を年 3 回以上実施 	保健課
		<ul style="list-style-type: none"> 適正なサービス管理・事務処理 学校経営予算の効率的な執行 施設設備の適正な維持管理、適切な安全対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 監査等における指摘事項 0 件 光熱水費の前年比増 10%以内（空調稼働分の節約） 学校運営に係る予算について前年比 10%節約 施設設備安全点検月 1 回以上 0 件 	事務部
ク	教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの推進 業務の精選 勤務時間の短縮を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスチェックの結果が県平均より良好 職員会議は協議事項の意見交換を主として、連絡事項は分かりやすい資料の配布で簡略化 業務のデータを活用した効率的な業務の実施、次の担当者のために業務のマニュアル化 定期テスト監督の平準化 	管理職